

研究課題名	高血圧合併慢性肝疾患患者におけるサクビトリルバルサルタンの有用性
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 消化器科 氏名 黒崎雅之
研究期間	(西暦) 実施許可後 ～ 2026年7月31日
研究の意義・目的	慢性肝疾患患者における門脈圧亢進症の進展、難治性腹水と血清CRP、心係数に相関を認めることが報告された。1 一方で、肝硬変患者ではレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系(RAAS)が亢進した結果、CIが増加することが知られている。2 今回、2020年8月26日新規心不全治療薬かつ高血圧治療薬であるアンジオテンシン受容体・ネプリライシン阻害薬(ARNI: angiotensin receptor-neprilysin inhibitor)のサクビトリルバルサルタンナトリウム水和物(商品名エンレスト)の有用性が認められ、3 本邦でも発売となった。これまで15万人に処方され、その安全性は確認されている。慢性肝疾患患者においても、高血圧および心不全のコントロール目的でサクビトリルバルサルタンが処方されている。そこで、当科にてARNI内服治療を受けた慢性肝疾患患者の臨床経過を非治療例と比較検討することを目的とした。
研究の方法 (対象期間含む)	研究対象期間は研究実施許可後から2032年8月。本研究は、後ろ向き観察研究である。具体的には、研究開始以降に当院で肝疾患患者における高血圧に対して、サクビトリルバルサルタンナトリウム水和物を処方された患者さんに対して生存、肝関連イベント発生、心機能の変化を含む関連する因子の解析を行う。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 他機関へ提供される場合(匿名加工する場合はその方法含む) ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①保険診療内の通常の診療において、取得された・あるいは取得される 予定の診療情報(既存情報)を収集・分析する。 プライバシー確保のため、患者さんが特定できないようにデータを処理した上で研究解析を行います。また、研究結果を公表する際には、患者さん個人が特定されることはない。 ②診療情報: 年齢、性別、病歴、血液検査結果、Inbody検査結果、画像検査結果、予後・転帰等 ③当院研究分担者 中西裕之、山田倫子 代表者 黒崎 雅之 ④武蔵野赤十字病院 消化器科 黒崎 雅之
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ 〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 消化器科 氏名 中西裕之/黒崎 雅之 TEL: 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX: 0422-32-3525